

# 北海道建築士

HOKKAIDO KENCHIKUSHI 2026.01.No341

1月号

## 目次

新年のごあいさつ	1
全国大会報告	2
ブロック会報告	4
青年の窓	5
道士会の動き	6
Coffee Break	7
information	8

URL <https://www.h-ab.com/>



## 新年のごあいさつ

一般社団法人北海道建築士会 会長 本間 恵美

新年 あけましておめでとうございます。皆様におかれましては、健やかに新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。日頃より、当会事業へのご参加とご協力に感謝申し上げます。

今号より、会誌「北海道建築士」はデジタル(PDF)化をして、本会ホームページの会員専用ページに掲載となりました。ペーパーレス化への取り組みと、パソコンやスマートフォンから閲覧ができることによる会員の利便性も考慮しました。同時に、印刷費等の経費削減にもなりました。今後は、ホームページを使いやすいように、スマートフォン対応画面などの準備も進めていく予定です。

昨年末に、会員の皆様に「会費の改定と会費納入のお願い」を送付させていただきましたとおり、本年より会費の値上げをいたしました。様々な価格の高騰や会員の減少に伴い、会の健全な運営や十分な活動の維持が難しくなっております。収支・財務状況を見直すためにタスクフォースを立ち上げて、様々な経費削減も行っております。皆様にはご負担をおかけすることとなりましたが、今後も引き続き取り組みを進めて参りますので、ご理解・ご支援を何卒よろしくお願い申し上げます。

本会の活動についてですが、今年の第48回全道大会さっぽろ大会は、令和8年10月2日(金)に青年サミット、3日(土)に大会を開催します。翌日の4日(日)の午前中には、エクスカッションも予定しています。札幌支部を主管として、「RE:BORN まち×建築×建築士 ～過去を学び・現在を見つめ・未来を描く～」をテーマに開催をいたします。様々な企画で皆様をお迎えしようと、支部をあげての準備が進んでいるようです。是非とも多くの方々にご参加いただきますようお願いいたします。なお、札幌市内では他のイベントが重なると宿泊費が高騰する場合がありますので、宿泊の予約はお早めに。

昨年9月27日(土)開催の全道大会中標津大会では、中標津支部の皆様の心からのおもてなしに感激

いたしました。「すごろく大意見交換会」も大いに盛り上がり、懇親会ではたくさんの交流がありました。参加した方々には有意義な一日になったことと思います。準備から当日の運営、夜遅くまで2次会会場から各宿泊施設までのマイクロバスの運行もしていただきました。中標津支部の皆様には心より感謝とお礼を申し上げます。

北海道建築士会は、33支部を道南ブロック、道央ブロック、道東ブロック、道北ブロックと4ブロックに分けています。近年の会員減少に伴い、支部での活動が思うようにできないところもあるようです。これからは、今まで支部単位で行っていた活動を、近隣の支部と協同で開催したり、ブロック単位で活動することも視野に入れて、どのようなことができるのか支部の意見も聞きながら考えていきたいと思っております。他支部の事業にも参加することで、交流の幅も広がるのではないのでしょうか。

近年の気候の変化による大型化した台風や集中豪雨・豪雪などが毎年のように発生しています。また、北海道太平洋側沖合の千島海溝沿いの領域では、大きな地震が30年以内に高い確率で発生すると予測されています。北海道建築士会としては、災害を自分事として捉えて、災害時における地域の連携とサポート体制をどのようにするかについても、取り組みを始めていきます。

建築士会の良いところは様々な業種の方が所属していることです。そして、本部、支部を問わず、北海道建築士会の委員会活動は、全国の各建築士会活動の中でも、レベルの高い内容ですので、会員の皆様方には是非とも活動に参加して、多くの方と交流していただきたいです。特に、青年委員会に所属する若い会員の皆様には、失敗を恐れずに色々なことに挑戦してほしいと思っております。

会員の求める建築士会とは何かを模索しながら、魅力ある建築士会を皆で作っていきましょう。

# 建築士会全国大会（おおさか大会）の様子



笠原 成太 (札幌支部)

令和7年9月18日・19日の二日間、建築士会全国大会おおさか大会が開催されました。今年のテーマは「建築からソーシャルデザインへ」。2025年の大阪・関西万博閉会を目前に控え、建築士が社会課題にどう向き合い、他分野の専門家や市民とどのように協働して未来を創り出してきたか、その活動を報告する大会となりました。

会場には全国各地から多くの建築士が集い、活気と熱気にあふれていました。北海道建築士会からはおよそ50名が参加し、札幌支部青年委員会からも5名が参加しました。久しぶりの再会を喜ぶ声、初めて顔を合わせる人との名刺交換、あちこちで交わされる笑顔や談笑。どの瞬間も、たくさんの人とつながることの楽しさに満ちていました。

特に印象的だったのは、青年委員会セッションの地域実践活動発表会です。北海道ブロックからは上富良野支部による「防災をテーマとした青年の集い」の発表が行われ、見事奨励賞を受賞しました。地域の課題に向き合い、地道な活動を重ねてきた成果が全国の舞台で評価され、大きな誇りと刺激を感じました。



青年委員会セッションでの奨励賞受賞記念写真

私は今回で全国大会への参加が3回目になります。初めてのときは緊張の連続でしたが、回を重ねるごとに再会できる仲間が増え、全国に「同志」と呼べる人たちができていくのを実感しています。仕事の話や地域の建築事情、そして趣味の話まで、どんな話題でも盛り上がり、気づけば時間を忘れて語り合っていました。建築士という共通の軸があるからこそ、年齢も立場も超えてつながれる。それがこの大会の醍醐味だと感じます。

18日の夜は全国の青年建築士が集う交流会に参加しました。1年ぶりに顔を合わせる仲間や初めて出会う人たちと、自然と打ち解けていく雰囲気が心地よく、改めて“人とのつながり”の力を感じました。

翌19日の大交流会では、北海道建築士会の先輩方とも同席し、普段はなかなか聞けない経験談を伺うことができました。建築士として長年活動されてきた方々の言葉はどれも重みがあり、自分の今後の糧となる時間でした。



大懇親会での北海道支部メンバーの様子

開催地・大阪の街は、万博の影響で多くの人でにぎわい、国際的な雰囲気に包まれていました。札幌とはまた違う、街全体に漂う活気と勢いに圧倒されながらも、そのエネルギーが人を惹きつける理由を肌で感じました。大会後には静岡や岐阜の建築士の方々と食事を共にし、地域ごとの建築課題や活動の工夫を語り合う時間もありました。全国の仲間とお酒を酌み交わしながら語る時間は、何よりも貴重な学びであり、忘れられない思い出です。



全国の青年建築士との交流

今回の大会を通じて、改めて感じたのは「人と関わることの大切さ」です。建築士会は、技術や知識を高めるだけでなく、人との交流を通じて自分を磨く場でもあります。普段の仕事だけでは得られない学びや刺激があり、それが結果として建築士としての視野を広げてくれると感じました。

これからもこうした大会や活動を通して、より多くの人に建築士会の魅力を伝えていきたいと思えます。特に青年世代が交流し、学び、共に成長できる場として、建築士会の輪をさらに広げていくことが、未来の建築を支える力になると信じています。

# 全国大会おおさか大会へ参加して



青年委員会 委員長 加藤 寛基 (釧路支部)

9月18日・19日の二日間、全国大会おおさか大会が開催され、全国建築士フォーラム、全国大会青年セッションにそれぞれ参加をした。

18日の全国建築士フォーラムでは全国の青年層の会員が集まり、研鑽事業を行った。今年は魅力あふれる大阪の街並みを3つのエリアに分かれてフィールドワークを行い、それぞれの特色について写真共有を通して学びを深めるものとして行われた。

前段には大阪を拠点にご活躍されている大阪公立大学の倉方俊輔氏をお招きした講演を拝聴し、フィールドワーク中に各エリアにて倉方氏による生解説を拝聴しながら理解を深められるよう構成した。



倉方氏によるスポット解説風景

フィールドワークから懇親会まで同じ班構成とすることで、班構成のポイントとして建築の見方を事前に聞取りをすることでより交流も深まり、参加者の皆様も充実した一日になったのではと感じざるを得ない盛り上がりを見せた。

翌19日に本大会を迎え、青年セッションでは例年行われる「地域実践活動報告会」が開催された。



青年セッション 開催風景

都道府県で各々行われている地域実践活動を報告し合い、考え方や取り組み方に触れることで自県への活動につながるよう学び交流することを主として開催される。

本年は子ども向けイベントもあったが、地域課題に目を向け取り組んだもの、建築士としての職能を活かし建物保存に取り組んだもの等、多種多様な発表となり、どの発表も思わず見入ってしまい学ぶことが多かった印象である。

報告会において審査員による投票に加えて、ブロックコーディネーターという全国各ブロックから一名、独自の視点での採点に加え、各発表について講評を行う新しい立ち位置が追加された。ただの投票だけではなく、こうした講評があることで自分になかった新たな視点を得られたり、発表の理解度を高められたりとただ参加するだけではなく、より事業に入り込むことができたように思う。

北海道からは5月に行われた青年建築士の集いで取り組みをまとめ発表を行った。各地域素晴らしい発表が行われている中、昨今取り上げられることも増えてきている自然災害に対する地域の意識付けにつながる内容・思いは、会場の皆様へしっかり届けることができたのではないかと感じる。

昨年の全国大会鹿児島開催より日本建築士会連合会青年委員へ北海道代表として出向し、多くのよき仲間と囲まれ日々成長を実感している。

本年はおおさか大会での発表につながる各ブロックにおけるいわゆる選抜会も数か所参加した。全国大会の切符をつかむことはできなかったが、「地域実践活動＝子ども向け事業」だけではなく所属会員の職能を活かすような取り組みも多く見受けられ、北海道内においても取り入れられないかと考えさせられた。

全国大会も全国各地で行われ、道内からの参加はアクセスが悪く参加が困難なケースも多数ではある。しかし一方では自身の視野が広がるような取り組みに出会えたり、身近にはいなかった素晴らしい同世代の仲間とつながったりすることは生涯にわたっての財産となりうる。(実際に自身も現在事業提携によるスキルアップを図っているところである。)

こうした機会を経て感じたことや学んだこと、生まれた全国各地の仲間とのつながりを大切にしつつ、自身がそうであったように、先輩が後輩を連れ誘い合える、そんな魅力あふれる会となれるよう、道内の仲間と共に前を向き取り組んでいきたい。

## 分会の課題。 会のサービス向上を！

### 道央ブロック会

副会長 針ヶ谷 拓己 (札幌支部)



令和7年10月10日(金)、札幌市内の大五ビル会議室にて第2回道央ブロック会が開催されました。

「支部の課題と対応」では、支部内における分会にて、活動の停滞、高齢化による退会増、担当者不在で分会の統合が進まない実情など、分会運営が一段と厳しさを増している現状を共有しました。ある分会では多数が退会を希望しており、他分会でも同様の懸念が高まる中、分会のあり方を抜本的に見直す局面に入ったことを確認したところです。一方、会員サービス向上と運営改善へ向け、メーリングリストや公式LINEの活用、会費の月払い・電子決済化、スポンサー制度の導入など、多面的な提案について活発に意見交換が行われました。

その他、全国各建築士会の事例を踏まえ、北海道建築士会として「(仮称)シニアの会」設立を提案されました。対象は65歳以上の会員経験者とし、予算を伴わない緩やかな集いとして、本部理事会への提案を進めることとしました。

最後に、次回の全道大会は道央ブロックでの開催となる「さっぽろ大会」です。現在、札幌支部にて着々と企画を進めながら、皆さまのご参加を心よりお待ちしております。どうぞよろしく願いいたします。

## 道南ブロック会報告

### 道南ブロック会

統括理事 中原 茂人 (苫小牧支部)



道南ブロック会では、令和7年度も年2回の会議を行いました。この会議を通し、令和8年度の道南ブロックの方向性が見えて来ました。現在、函館支部、檜山支部、(一社)青森県建築士会の青森支部で、青函檜交流会と題し交流事業を行っています。発足当時は函館支部、檜山支部、青森支部の交流会でしたが、現在は(一社)北海道建築士会と、(一社)青森県建築士会との交流会で、担当支部が函館支部、檜山支部、青森支部という位置付けとなっています。本部からもこの事業にブロック活動連携費支出を頂いていますので、道南ブロック全体としても関わることが出来ないか検討を進める事としました。次に、令和10年度の全道大会は道南ブロックが担当と成る予定ですが、これまでのように主管するのは単一支部とするのか、又は複数支部とするのか、大会内容の見直しをする部分は無いのか、式典のあり方等々、青年委員会の意見も取り入れながら、今年1年かけて検討を進める事としました。更には、道南ブロック会議を年2回から3回に増やし、ブロックの活性化をすることで、本部のさらなる発展に繋げていきたいと思っております。

## 第2回ブロック会報告

### 道北ブロック会

統括理事 大田 幸広 (旭川支部)



令和7年10月15日(水)花月会館において、第2回道北ブロック会を開催しました。道北ブロック支部7支部より11名参加いただきました(留萌支部は都合がつかず不参加)。本部より本間会長に出席いただきました。会長より機構変更の考え方、経費削減に向けた取り組みについて説明いただきました。各支部からは経費削減に伴う機構の変更には理解をいただきましたが、地方支部の現状を理解して意見、考え方を反映できる組織作りをしてほしいとの意見がありました。活動報告ではほぼコロナ前の活動に戻りつつあるが、同じような活動には戻れない状況が報告されました。支部単独では事業が成立しないため、他団体と共同で事業を行った事例についても報告がありました。課題への対応では会員増へ、全道大会へ若年者を参加させ、技士会員の増に向けての働きかけをしている支部の報告があり、各支部共苦勞されていることを確認することとなりました。事務局の維持が難しい支部もあり、近隣支部と合併したいとの要望もあり、支部の在り方について考えさせられる会となりました。会費増もあり会員数がどう変わるのか、支部を維持するために何をしなければならないのか、支部だけで解決できない問題もあり、本部を含めて方向性、考え方をまとめていかなければならない状況にあることを共有した会でした。

## 第2回道東ブロック会報告(AI)

### 道東ブロック会

統括理事 鈴木 徹 (十勝支部)



9月12日北見市(北見支部担当)で第2回道東ブロック会が開催されました。会議の概要を報告いたします。尚、以下の議事録作成は、会議の録音データを基に議事録作成AIを活用して作成しました。(概要)

「各支部の活動報告と全道大会の準備・参加見込み、懇親会での菓子提供協力の再周知、協賛金の過去事例と今回の方針、イベント運営と収益(ビールパーティー・勉強会)、広報(ホームページ・SNS)の運用課題、ブロック会の情報伝達の改善提案、委員会の人選と割り振り、統括理事の任命、代議員枠の配分方針、資格講座割引提携の進捗、ブロック会の開催形態(ZOOM併用)強化などである。全体として、全道大会は運営体制が概ね整い参加申込も具体化している一方、菓子提供の周知不足や情報伝達の標準化、委員会人選の未確定点、代議員選出スケジュールの不透明さ、デジタル広報体制の未整備といった課題が共有された。」

この概要はAIが作成した原文を載せています。この精度は驚きでしかありません。AIを活用することで、迅速かつ正確な情報伝達が可能な時代であることを実感しました。議事録作成等にAIを積極的に活用して作業の省力化を図りたいものです。

## 青年委員会 青年と建築士会

青年委員会 前委員長  
吉田 徹 (札幌支部)



令和6・7年の2年間、北海道建築士会青年委員長を務めさせていただきました吉田 徹です。

まず、青年の活動をご支援、応援いただいた事に厚くお礼申し上げます。

就任当初、会誌で「新たなスタート」として抱負を述べました。コロナウイルスによる事業自粛を経て、制限のない活動が再開され、新しい委員による運営のもと、さまざまな事業を実施できました。

令和6年には、従来新さっぽろのサンピアザで開催していた子ども向けイベントを、全道の各支部の青年委員にご協力いただき、「建築お仕事体験フェス」として全道同日に開催しました。Zoomを活用し、道内各会場をつなぐことで一体感のあるイベントとなり、多くの子どもたちに建築の面白さを体験してもらえたと思います。

また、各支部の青年委員会・部会にとっても、今後の活動を考えるきっかけとなりました。実際に複数の支部で、このイベントで使用したツールを活用した個別事業の開催報告もありました。

なお、このイベントが令和6年全国大会青年セッションで最優秀賞を受賞したことは、大きな節目となったと感じております。



青年委員集合写真

令和7年においては、例年開催している「全道青年連絡会議」にて「未来の建築士会」というテーマで全道の青年委員と共にワークショップを行いました。

1. 現在の建築士会、業界の不満点
2. 理想の建築士会
3. 現在と理想を繋げるアクションプラン

この3つのテーマに沿って屈託のない意見を出し合いました。

ちょうどこのころは、会費の値上げ・青年の定年制の話が多くの皆様にも認知されたところで、様々な意見が飛び交いました。

特に、現在の各支部青年は業界全体と同様、若手不足が課題となっており、どのようにしたら新規の若手に建築士会の活動に賛同いただけるか、それぞれの業界、立場からの意見で参加された皆様が各支部へ持ち帰ることのできる機会になったと感じております。



ワークショップ

北海道建築士会青年委員会は、主に仲間づくり、スキルアップ、次世代育成を主体に事業を行ってまいりました。令和6年の事業としての「建築お仕事体験フェス」こちらも次世代育成としての事業として行いましたが、今後、運営する人員が減少する中で、個人会員としてどのように関わっていくか、考える時期に差し掛かっていると感じております。

もちろん、建築士（プロフェッショナル）として、住教育や地域貢献等の事業は行っていく必要があります。

一方で、現在の若手現役世代、特に20代から40代の方々は業務が非常に多忙であり、プライベートでも子育て世代の方が多くいらっしゃいます。そのため、より魅力的な事業を実行していくことが重要だと考えます。

今後、変化していく社会の中で、建築士会という団体を活用して、情報交流の場、仲間同士で学び合う場として繋がっていただけることを願っております。

## 北海道建築士会年間行事予定（予定）

3月	10日 第1回理事会	8月	予定 二級建築士学科試験合格者発表
	19日 定時総会		28日 第4回理事会
5月	19日 第2回理事会	9月	予定 一級・木造建築士学科試験合格者発表
	21日 全道青年委員会連絡会議		13日予定 二級建築士設計製図試験
6月	29日 第3回理事会	10月	3日～4日 全道大会（札幌大会）
	予定 青年建築士の集い		11日予定 一級建築士設計製図試験
7月	22日 支部長・事務局長合同会議	12月	16日 全国大会（群馬大会）
5日予定 二級建築士学科試験	4日 第5回理事会		予定 建築士試験設計製図合格者発表
	26日予定 一級・木造建築士学科試験		

## 建築士試験「設計製図」合格者（北海道）

	実受験者	合格者	合格率		実受験者	合格者	合格率
二級建築士	341名	149名	43.7%	木造建築士	1名	1名	100.0%

## 令和8年専攻建築士登録申請受付のご案内

### ？ 専攻建築士になるには・・・（新規認定の要件）

- ・「CPD」を行っており、過去1年間（令和7年1月～12月）に12単位を取得している
- ・建築士資格取得後の専攻領域の実務経歴年数が5年以上ある
- ・「当該領域の責任ある立場での実務実績」（要第三者による証明）が3件以上ある

※構造設計・法令専攻建築士は、一級建築士を要件としております。

### ◆専攻建築士認定申請について

- 〈受付期間〉令和8年1月4日～2月28日（当日消印有効）
- 〈申請書〉北海道建築士会HPよりダウンロードできます。
- 〈申込〉申請手数料（審査手数料・登録料）の振込控えを申請書に添付し北海道建築士会へお申込みください。

### ◆専攻建築士更新認定申請について

既に、対象のみなさまへは、更新申請についての案内を送付しております。該当の方で届いていない方がいらっしゃいましたら本部事務局までご連絡ください。（011-251-6076）

## 千歳支部

### 組織の未来に向かって

支部長  
南雲 勇次



千歳支部で支部長を務めさせて頂いております南雲勇次と申します。

千歳支部では組織の活性化、更には活動予算の確保に向けて、賛助会員の拡大に近年は力を注いで参りました。

順調に賛助会員数は増加することが出来ましたが、新たな問題は正会員の高齢化による退会が増え始めてきたことです。

年会費の増加に伴う退会者も一名出てしまいましたが、団体を存続させていくためには会費の値上げは致し方ないことと十分理解しております。この会費負担の増加に見合う支部活動の充実が、今後の会員維持には必要不可欠だと感じています。

コロナ禍の期間に支部活動についても規模縮小や自粛を余儀なくされましたが、現状においてコロナ禍以前のように活動を戻せたかといえば結果的には活動規模縮小のまま経過してしまっているのが現状としてあります。

また活動への会員の参加者も固定されており、新たに参加意欲がわくような活動を行えていない事も支部役員として心苦しいものを感じています。

会員減少が大きく進む前に、新たな魅力造りが必要となります。

今年度は近隣の恵庭支部様とのゴルフコンペを新たに開催し、親睦をメインとした活動を行いました。

千歳支部単体では固定概念により新たな活動の幅は見いだせない可能性

もありますが、近隣支部と活動の幅を広げることで新たな魅力の創出が可能ではないかと思っています。

青年部を中心に支部活動を盛り上げようと頑張ってくれておりますので、役員として後押しできるような今後とも一丸となって頑張りたいと思います。

各種大会で千歳支部の会員が大変お世話になっておりますことに感謝申し上げて、私の原稿寄稿を閉じさせていただきます。



千歳支部、恵庭支部 合同ゴルフコンペ

## 北見支部

### 未来の建築士について

青年部会事務局長  
黒川 純平



新年あけまして、おめでとうございます。会員の皆様はいかがお過ごしでしょうか。

北見支部におきましては、若手建築士の減少による建築士会員の高齢化が問題となっております。そんな状況を改善するために、北見支部で行っている事業を紹介したいと思います。現在北見支部では、女性部会による市内の小学生を対象とした「パズルで住まいを考えよう」という専用アプリを用いた住宅の設計、青年部会による市内の高校生を対象とした「住教育出張講座」という間取り作成キットを用いた共同住宅の住戸を設計するという活動を行っております。

今回紹介させていただくのは、青年部会で例年実施している「住教育出張講座」についてです。具体的な内容は、近い将来一人暮らしをするという想定で、自分自身

を見つめ、自分らしい暮らしを想定して、間取りを設計するものになります。

実際に作業を始めてみると、「トイレや浴室の大きさがわからない」や「収納のスペースはどのくらい必要か想像がつかない」、「窓やドアは図面上どのように記載したらいいのだろう」など、たくさんの質問がありました。手が止まる場面も多くありましたが、まわりの友人に相談したり、講師の助言をもらいながら、それぞれ住みたい間取りを作成することができました。最後に完成した間取りの発表会を行うことで、自分の間取りを客観的に見る事ができたのではないかと思います。

参加した生徒の皆さんからのアンケートでは「自分が生活の中で何を大切にしているか発見することができた」や「実際の設計では、間取りだけではなく周囲の環境を考慮することが大切だと学ぶことができた」、「想像していたよりも考えなければいけないことが多く、間取りがまとまるまでに、多

くの時間がかかってしまった」など、非常に参考になったという意見ととても大変だったという意見が多くありました。

今回の「住教育出張講座」に参加した方の中から建築業界に一人でも多く進んでいただき、将来一緒に仕事ができる人が出てくれたらと願っております。



令和7年住教育出張講座

## 道士会の動き

### 本部の主な会議報告（12月）

#### ◆第7回BIM推進特別委員会（Web）

〈開催日〉1日（月）

- 1) 令和7年事業活動計画
- 2) 令和8,9年委員会体制
- 3) 令和8年事業活動計画

#### ◆第4回理事会

〈開催日〉5日（金）

- 1) 令和7年一般会計予算の補正及び流用（案）
- 2) 令和7年一般会計事業報告及び収支決算見込み
- 3) 令和7年特別会計事業報告及び収支決算見込み
- 4) 令和8年一般会計事業計画及び予算編成
- 5) 令和8年特別会計事業計画及び予算編成
- 6) 第47回全道大会（中標津大会）事業報告及び収支決算（案）
- 7) 第48回全道大会（札幌大会）の開催（案）
- 8) 第49回全道大会の開催（案）
- 9) 定款第6条に基づく会員の入会承認（案）
- 10) 令和8年定時総会の開催（案）
- 11) 一般社団法人北海道建築士会定款 改正（案）
- 12) 一般社団法人北海道建築士会就業規則 改正（案）

#### ◆第3回情報委員会（Web併用）

〈開催日〉6日（土）

- 1) 令和7年事業報告及び令和8年事業計画・予算
- 2) 会誌「北海道建築士」
- 3) 令和8年1月からの会誌「北海道建築士」Web掲載

#### ◆第8回BIM推進特別委員会

〈開催日〉12日（金）

- 1) 令和7年活動総括、令和8年活動

### 本部の主な行事予定（1月）

10日（土） 第1回青年委員会

## 講習会・セミナーのご案内（1月）

### 監理技術者講習

14日（水） 札幌市

### 建築基準法講習会

21日（水） 札幌市

29日（木） 帯広市、小樽市

### CPD認定プログラム（12月認定）

#### ◆第57回建築基準法講習会

〈日程及び会場〉1月21日（水） 10：30～16：00

北海道第二水産ビル 他18会場

〈単位数〉 4単位

〈問合せ先〉

北海道建築士会 TEL 011-251-6076

#### ◆PS Kハウス・PS マダガスカル見学会

〈日程及び会場〉1月17日（土） 14：00～16：00

ピーエス株式会社内（北広島市）

〈単位数〉 2単位

〈問合せ先〉

北海道建築士会札幌支部 TEL 011-232-1843

#### ◆令和7年度 建築・住宅セミナー

〈日程及び会場〉2月26日（木） 14：30～16：30

TKP札幌ビジネスセンター赤レンガ前（札幌市）

〈単位数〉 2単位

〈問合せ先〉

一般財団法人北海道建築指導センター

TEL 011-241-1893

### “会員専用ページ”でオンデマンド配信中！



■視聴方法：北海道建築士会HPの上記「会員専用ページ」をクリックしパスワードを入力

■1月パスワード：Chi063

## 編集後記

新年明けましておめでとうございます。今号から会誌をWEB掲載に移行し、皆様へはダイジェスト版をお届けいたします。

情報委員会としてのWEB活用は（情報委員会なのに）初めての試みで手探りの状態ですが、皆様のご意見を伺いながら、読み手を増やし、北海道建築士会を存続したくなる魅力的なコンテンツを目指し、情報委員会一同尽力いたします。

私事ですが、11月にインフルエンザに罹患いたしました。コロナのどさくさでインフルエンザのワクチンを打たなくなり、約20年ぶりのワクチン未接種罹患、本当に辛かった…（←個人の感想です）皆様もどうかご自愛ください。本年もどうぞよろしく願い申し上げます。 情報委員会 副委員長 立花 智亜喜（網走支部）

情報委員会委員長／前田 繁  
副委員長／村山 賢司・立花智亜喜  
委員／奈良岡 修・山川 力  
津山 浩・椛川 正人

### 北海道建築士 No.341号

発行 令和8年1月

編集・発行 一般社団法人 北海道建築士会

〒060-0042 札幌市中央区大通西5丁目11番地  
大五ビル

電話 (011)251-6076番

URL <https://www.h-ab.com/>